

「新銀行東京」だけでは足りない!



「借金10億円」の全貌

舞台になったのは、東京都が2004年10月に設立した中小企業再生ファンド「東京チャレンジファンド投資事業有限責任組合」。

舞台になったのは、東京都が2004年10月に設立した中小企業再生ファンド「東京チャレンジファンド投資事業有限責任組合」。

問題の業界組合とは、築地市場の約800の仲卸業者でつくる「東京魚市場卸協同組合」(伊藤宏之理事長、以下「東卸」)――。05年当時、農林中金に9億7500万円の出資。

「借金帳消し疑惑」が、内部資料や都の開示文書などから明らかになったのだ。

どにより業績や資金繰りが悪化している都内の中小企業などで、企業再生を進めることを目的にしている。石原慎太郎知事が記者会見で「対象企業に手厚い支援を行う」とブチ上げた、いわば「石原ファンド」というべきものだ。

その規模は、出資金75億円のうち、3分の1にあたる25億円を都が出資。運用主体は「大和証券SMB Cの子会社「大和証券SMB Cプリンシパル・インベストメンツ」が行っている。

「大和証券SMB Cの子会社「大和証券SMB Cプリンシパル・インベストメンツ」が行っている。